

2010年度 トピックス

◇2011/03/27

桐朋高校陸上競技部卒業生送別会が行われました(送別会の様子は[こちら](#))。
中学1年から続けた者、高校からはじめた者などそれぞれですが、最終的には陸上競技に真剣に向き合い、努力できた卒業生達でした。指導者としても、65期のみなさんと共有できた時間は、とても楽しく、よい思い出です。卒業生ひとりひとりが、この先の新たなステージで活躍することを期待しています。
卒業おめでとう！

2010年度、最後のHP更新となります。
来年度もどうぞよろしくお願い致します。

◇2011/03/24

本日、中学卒業式が行われました。震災の影響から、規模を縮小して、生徒のみでの実施となりました。例年の式とは異なりこじんまりとしていましたが、素晴らしい卒業式でした。
68期諸君、卒業おめでとう！色々でありすぎて一言では言えませんが、とにかく内容の濃い3年間でした。

20日間程全体での練習は出来ていませんでしたが、明日からは活動を再開します。また頑張ってください。



卒業式の様子



68期陸上部卒業生一同

◇2011/03/24

この度、クラブ活動の実施に関して学校の方針が出されましたので、それをもとに陸上競技部の春休みの練習日程を作り変えました。以前配布した物とは大きく異なっていますので、各自確認してください。

◇2011/03/17

この度の大地震を受け、現在生徒は自宅学習期間となっています。今後の学校のスケジュールに関しては既にホームページ等でお伝えしてある通り、3月24日に中高終業式、ならびに中学卒業式を実施する予定となっています。また、クラブ活動に関しては、3月24日の13時までは活動禁止の方針が決定されています。その後の予定に関しては今のところ未定ということになります。

現在、東京都でも電車の運行状況は不安定で、更には日々余震が発生している状況です。陸上競技に関しては、あと数週間後にはシーズンインとなりますが、これから先の状況が見えない中で、予定されている大会自体が開催されるかどうか分からない状況です。(中学生の東京駅伝 3/21 は中止になりました。)

今度全員で練習できる日はいつになるのかわかりませんが、その時には身体の準備は十分にできないでしょうが、心の準備はしてきてください。せっかく冬のきつい練習に耐えてきたわけですから、そのトレーニング効果を出せるだけ失いたくないものです。

春休みの練習日程は後日連絡します。

◇2011/01/29

高校・新春駅伝および中学・ロードレース大会が終了しました。

新春駅伝では昨年からの順位を大きく上げて13位でゴール。

ロードレースでは中1・2kmの部で市川尚樹選手が6分22秒で1位、中2,3年・2kmの部で中村太紀選手が6分11秒で2位(中2では1位)と素晴らしい結果。

これで中体連・高体連の試合を含め、2010年度の試合は全て終了しました。

現在は来年度に向けて精力的にトレーニングに取り組んでいます。

2011年度は更なる飛躍の年にしたいと思います。

※結果は記録集に記載

◇2010/11/14

中学・都駅伝大会が終了しました。昨年は74位でしたが、今年は一気に順位を上げて、12位でゴールしました。62も順位を上げたことは素晴らしい大躍進ですが、ゴール後の選手達の表情からは悔しいだけが伝わってきました。優勝して全国大会に出場することが目標でしたから、みんなうなだれていたのでしょう。悔しい結果ではありましたが、記録は桐朋中学記録を30秒ほど更新することができました。3年生が4名、2年生が1名、1年生が1名のチームでした。

来年こそは全国駅伝に出場しよう！

画像がありませんが、別ページを作っておきました。ご覧ください。[こちら](#)

◇2010/11/05

高校・都駅伝大会が終了しました。今年も昨年に引き続き、1,2年生のみでの出場となりました。高2が3名、高1が4名で、今年高校から入学し、陸上部に入部した生徒が2名走りました。一昨年在60位、昨年在50位となっており、今年はどうなるのかと心配しましたが、総合順位を上げて42位でゴールしました。この調子で来年以降も順位を上げていきたいところです。

大会の様子は[こちら](#)

◇2010/09/09

先日、65期高3生達から後輩達へのメッセージをいただきました。

(みんな肌の色が白くなり、受験を控えた今の生活がしっかりと伺えました。)

これまでの経験で感じたことなど、大事なメッセージを伝えてくれたと思います。

中学1年から陸上を続けてきた者、途中から転部してその後しっかりと陸上に取り組んだ者など様々ですが、しっかりと桐朋陸上部の伝統を引き継いでくれました。後輩達には、彼らの記録ばかりでなく、陸上競技に向かう姿勢など、あらゆる側面を越えて行って欲しいと思います。



◇2010/08/27

中学・私学大会が終了しました。

祝！ 男子総合優勝(72.5点)

全国大会から東京へ帰ってきた翌日から始まった私学大会でした。全国大会出場メンバーもフル出場で、大変な疲労の中の試合だったことだろうとおもいますが、手堅く得点を重ね、2年ぶりの総合優勝となりました。全国大会メンバーだけでなく、長距離でも中学1年と中学2年の1500mで桐朋記録更新をはじめ、中学3年から入部したメンバーが上位入賞したりと、総合力で勝ち取った勝利だったと思います。
素晴らしい戦いでした。



◇2010/08/24

中学・全日本中学校陸上競技選手権大会が終了しました。

110mH 中野 秀俊(中3) 予選 15秒22(+1.1)

4×100mR 塔下・中野・八重樫・片岡 予選44秒70 準決勝45秒00

詳細は[こちら](#)

◇2010/08/04

高校インターハイが終了しました。詳しい報告は[こちら](#)

◇2010/07/29



いよいよ高校・インターハイが開幕しました。本校からは高校3年の和泉理久選手が三段跳に出場します。出発は7/31、試合は8/2となります。そんな中、昨年三段跳で見事全国入賞を成し遂げた丸山弘貴君(64期)が激励に駆けつけてくれました。和泉選手も昨年の丸山君同様、怪我を抱えながらインターハイまでたどり着きました。南関東大会から約40日が経過しましたが、ここまで基本的なドリルやイメージトレーニング中心の練習をしてきました。本当に、今やれることはすべてやってきたと思います。見事なトレーニングでした。

最後の舞台、沖縄の地で、これまでの思いをぶつけて欲しいと思います。

(左が丸山:右が和泉)

◇2010/07/25

中学・通信大会が終了しました。

400m 片岡 将選手(中3) 52秒98 第2位 関東大会出場決定！

110mH 中野 秀俊選手(中3) 15秒09(+1.8) 関東・全国大会出場決定！(決勝では15秒44で4位)

400mR (塔下・中野・八重樫・片岡) 44秒65 第1位 関東・全国大会出場決定！

走高跳 新川 将弘(中3) 1m76 第5位

棒高跳 奥平 拓海(中3) 3m60 第5位

都総体から2週間ほど経過し、通信大会が江戸川陸上競技場で行われました。本大会の目標は「全国大会出場」。近年、全国大会へ出場した選手は、佐伯祐樹選手が200mと400mで、和泉理久選手が走高跳で出場した3年前の宮城での全国大会となります。今年は個人・リレーともに可能性を秘めていましたが、都総体では出場権を獲得することができずに、本大会を迎えました。

大会1日目、棒高跳の奥平選手は自己ベストを60cmも更新する3m60をクリアして5位(全国大会参加標準記録は4m00)。走高跳の新川選手は、1m76をクリアして5位(全国大会参加標準記録は1m85)。2名ともあと一步全国大会参加標準記録に届きませんでした。見事入賞。その後に行われた110mH準決勝、中野選手がスタートから飛び出し、15秒09(+1.8)の1位でゴール。標準記録の15秒24を見事突破してくれました(映像は[こちら](#))。3年ぶりの全国大会出場者です。決勝では9台目でハードルに足を引っ掛け、記録を伸ばすことができず4位となりました。

翌日、朝一から行われた400mで、片岡選手は全体3位の記録で決勝進出。決勝では、52秒98の自己ベストで2位に入り、関東大会のメンバーに選ばれました(映像は[こちら](#))。

最後に行われた400mR。都総体では0.02秒差の2位でしたが、当日は大雨で、優勝したチームの記録も若干低めでしたから、今大会で優勝すればおのずと記録も都総体より良いものとなると予想されました。我々はバックスタンド側で見えていました。4走にバトンが渡った時点でトップは桐朋でしたが、すぐ後ろに2チームが着けている状況で、アンカーの片岡選手がゴールした際、正直「負けた」と思いました。すぐに放送が流れ、タイムは1位と同タイムの44秒65で2位であることがわかりました。同タイムで負けたという事実を受け止めることは到底出来ず、バックスタンドで立ち尽くしてしまいました。15分~20分後、再び放送が流れ本部に呼ばれましたが、おそらく「1/1000まで見たら差があった」ということを伝えられるのだろうと思い本部へ行ってみると、実は1/1000まで見ても全く差がないことが伝えられ、着差なしで1位であるということと、都総体での順位の関係から、リレーでの全国大会出場は桐朋になることが伝えられました。頭の中はゲームセットでしたから混乱しましたが、すぐに、「テントで悔しがっている選手や有村先生に伝えねば」と思い、テントまで走りました。テントが見えたところで悔しがっている選手と有村先生の顔が見え、全国行きが決まったことを伝えたら、みんな訳はわからなかったと思いますが、とにかく一気に雄たけびが起きました(映像は[こちら](#))。

昨年秋から目標にしていた都総体総合優勝・全国大会出場の2つとも達成できました。リレーについては、数日経った今でも信じられない気持ちがあります。こんなに上手く事が運ぶものかと思ってしまいますが、冷静に考えれば、長い間の選手の努力に裏付けられた結果だったと納得できます。これまで頑張ってきた選手達・応援やサポートして

くれたみんな、暑中最最後まで声援を送ってくれた保護者の方々、そんな多くの人が素晴らしい結果へと導いてくれました。(関東・全国では更なる飛躍を目指しましょう)

以下は有村先生からのコメント

「4走の片岡選手がゴールした時、私の目には僅差の2着にしか見えず、あまりの悔しさにスタンドで人目もはばからず号泣してしまいました。その後の「着差なし1位」「全国決定」の知らせはまさしく劇的で、目の前で何が起きているのか、本当に信じていいものなのか、よく分からないほどでした。最後の最後まであきらめることなく力を出し切った選手は、とても立派だと思います。素晴らしいレースでした。

昨秋、4×100mRでの全国大会出場を目標に掲げてからここまで、最初はおそらく遥か彼方にあっただであろう目標を常に見失うことなく追いかけてきたことが、今回の結果につながりました。大きな目標掲げるのを最初からあきらめてしまった人に、大きな成長はありません。恥ずかしくて人には言えないような大きな目標掲げ、掲げたからにはその達成に向けて努力を続けること。そんな当たり前のことの大切さを改めて確認させられました。

そして、今回の結果は、選手の努力の他に多くの人たちのサポートがあったからこそ手にすることができたということも忘れてはならないでしょう。ともにグラウンドで練習し、試合の時も声援を送ってくれた仲間。みんなのことを気遣い、見守ってくれた保護者の方々。そういった多くの方々の存在が、大きな力になりました。支えて下さっている方々への感謝の気持ちを胸に、関東・全国では、東京都代表として恥ずかしくない試合をしてきましょう。通信大会決勝のレースを見ると、記録を伸ばせる余地がまだまだたくさんあると感じます。24年間も破られていない桐朋記録の更新、全国大会入賞を次なる目標に、悔いの残らない取り組みをしてくれることを期待しています。」

◇2010/07/21



弥四郎小屋前にて(中2陸上部の生徒達と顧問の宮下先生)

(陸上競技部の活動とは直接的には関係ありませんが)中学2年生の尾瀬林間が終了しました。林間学校中も自由時間では練習をしている生徒もおり、頼もしい限りです。

クラスの中でも良い友人関係をきずき、中学校生活を充実させて欲しいと思います。

◇2010/07/11

中学都総体が終了しました。

男子総合優勝達成！！

特集のページは[こちら](#)

◇2010/06/21

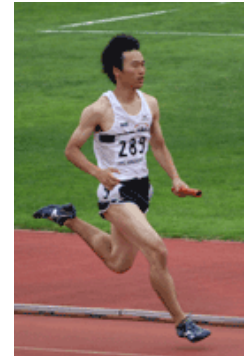
南関東大会に出場するのは800mの阿津選手、走幅跳・三段跳の和泉選手、1600mRの佐伯選手・阿津選手・諸岡選手・橋爪選手となります。しかし、阿津選手は1600mに絞って出場、和泉選手は都総体の際に腰部を痛め、大事をとって走幅跳は棄権。結果的に三段跳と1600mRのみの出場となりました。1600mRは昨年、組み合わせの影響もあり、大変悔しい思いをした種目。三段跳は昨年丸山選手がIHで入賞した種目。どちらも特別な思いを抱いての南関東大会となりました。

大会三日目、昼頃に1600mRのメンバーが競技場に到着しました。和やかな雰囲気でしたが、競技開始の16:10が近づくにつれて集中力が高まってきているようでした。1走は高2の橋爪選手。中学3年時は、あと1歩のところまで全国大会を逃しましたが、そこから随分成長してきました。本大会まで、気迫あふれる走りです。2走は阿津選手。昨年1600mRのメンバーとして悔しい思いをした一人です。本校・中長距離プロッ

クのエースとして周囲を引っ張ってきました。3走は諸岡選手。高校1年の冬から入部し、春までは走幅跳を専門としていましたが、努力の結果、1600mRのメンバーを務めるまでに成長しました。そしてアンカーは佐伯選手。高校1年からエースとして個人種目はもちろん、400mR、1600mRで活躍してきました。ここ数年の桐朋を支えてきた一人です。それぞれが最高の走りを目指し、そしてインターハイへ向かい、スタートの号砲が響き渡りました。

予選1組、橋爪選手・阿津選手、諸岡選手、佐伯選手、それぞれが今年最高の走りをしたと思います。記録はチームベストの3分19秒35で3着。例年であればプラスで拾われる記録ではありませんが、何が起るかわからない、と祈るような気持ちで残り2組を見ていましたが、残念ながら全体11位で決勝に進出することはできませんでした。強豪校であればどの学校も力を入れる1600mR。出場校すべてがインターハイを目指し、相当な努力をしてくれていることだと思います。その中を勝ち抜いていくことの難しさを改めて感じることとなりました。

※映像は[こちら](#)



大会最終日、11:30から三段跳は開始されました。和泉選手は昨年も出場し、一時は6位にまで順位を上げ、結果的には8位となりましたが、あと1歩のところまでインターハイ出場を逃しました。あれから1年間、一切の妥協をせず、素晴らしい取り組みをしてきました。力は十分、後は腰部の痛みがどうなるかが心配でした。跳躍回数が増えたとそれだけ痛みが増すだろうということで、1本目に決めたいと本人が言っていました、口でいうのは簡単ですが、実際に成すことは大変なことです。



都総体後、助走練習を含め、跳躍練習は一度もやっていませんので、どうなるかわからないということが正直な気持ちでした。ただ、やれることはすべてやっていたという思いだけはありました。

1本目の助走を開始し、上手く加速しながらホップ、そしてステップにつながりました。記録は14m31。跳躍順が最後で、それまでの他の選手の様子から、これは良い記録だと思いました。このまま6位以内が決定するという確信はありませんでしたが、何よりもしっかり跳躍をまとめてくれたことに安心しました。

2本目、3本目は力が入りすぎたのか記録が伸びず、4番目でトップ8へ進出。4本目がファウルとなり、5本目以降は他選手の記録を見ながら、今後を考えパス。結果的に1本目の記録で4位入賞、インターハイへの出場権を獲得しました。有言実行、見事な戦いぶりでした。

※映像は[こちら](#)

2010年度の南関東大会から、1名の選手が最後の舞台、インターハイへと出場することになりました。

残念ながら夢が叶わなかったけれども、これまで頑張ってきた高校3年生、本当に残念でしたが、きっとこの日のことは一生忘れない、かけがえのない思い出になっていくことだと思います。ともに頑張ってきたことを誇りに思っています。ありがとう。

◇2010/06/17

明日から茨城県・笠松陸上競技場にて南関東大会が始まります。インターハイへの最後の関門となる今大会へは、800mと1600mRの阿津英明選手、走幅跳と三段跳の和泉理久選手(走幅跳は欠場)、1600mRの佐伯祐樹選手、橋爪佑雄選手、諸岡岬選手、荒井太弥能選手、唐澤航選手、高橋豪史選手、サポートで増田知徳選手の計9名で遠征となります。昨年、2名の選手がインターハイを決めてから1年が経過しました。あの時の喜びと安堵感は忘れていません。今年も出場する種目すべてでインターハイへの出場権を勝ち取りたいところです。最後のステージ、インターハイへ向かい、全力で頑張ってきます。

- 800m予選 6/20(日) 10:25 決勝 12:35
- 1600mR予選 6/20(日) 16:10 決勝 6/21(日) 15:20
- 三段跳決勝 6/21(月) 11:30

◇2010/06/06

高校・支部学年別大会が終了しました。

天候に恵まれ、自己新を出した選手も多々おりました。特に高1の唐澤選手は100m、200mともに大きな成長を見せました。今後が楽しみな選手です。また、この試合が始めての陸上大会となった高校1年生もいました。これまで陸上未経験者でも、自分の目標をしっかりと見出し、日々のトレーニングを大事にしながら高校生活を充実させて欲しいと思います。更に、本大会で一応の引退となった高校3年生もいました。入部の時期は様々ですが、最上級学年として後輩達をしっかりと引っ張ってくれました。本当にありがとうございました。

南関東大会組は本大会をステップにして、6月18(金)から行われる本番に向けて、調子を整えてほしいと思います。インターハイへの思いの強さが、結果となり表れてくるはずですよ。

大会の様子は[こちら](#)。撮影できなかった人、ごめんなさい。

◇2010/05/30

中学/高校・春季江東区競技会が終了しました。

昨年も出場した際には、天候にも恵まれ、出場した高校生は全員が自己ベストを更新しましたが、本日は気温が低く、更に基本的には強い向かい風の中での試合となったため、記録は低調なものでした。高校生にとっては、南関東大会への調整試合としての意味合いが強い試合でありましたが、来週行われる支部学年別では弾みをつけたいところです。中学生にとっては、さまざまな課題に積極的にチャレンジする練習試合としての位置づけでしたが、高校生同様、記録は低調なものでした。金曜日まで中間考査があり、その間基本的には練習を実施していないので、その点も考慮しなければならないと思います。ただ、今年の最も重要な試合である都大会は、期末考査の2日後に開催ということで、本競技会と全く同じ状況となります。今回は失敗が許される試合でしたが、都大会はそうはいきません。今回の経験から反省点を見出し、都大会につなげていければ、本日の試合が生きてくる事でしょう。

◇2010/05/16

高校・都総体が終了しました。

800m 阿津 英明(高3) 1分58秒81 第6位 南関東大会出場決定 (映像は[こちら](#))

三段跳 和泉 理久(高3) 14m12(+3.4) 第3位 南関東大会出場決定 (映像は[こちら](#))

4×400mR 橋爪(高2)・佐伯(高3)・諸岡(高2)・阿津(高3) 3分20秒56 第6位 南関東大会出場決定
(映像は[こちら](#))

200m 佐伯 祐樹(高3) 22秒30(-0.1) 桐朋高校タイ記録 (映像は[こちら](#))

南関東大会へは個人2名(3種目)、リレー1チームが出場することになりました。南関東大会は6月18(金)～21(月)茨城県・笠松陸上競技場で行われます。



◇2010/05/16

中学・地域別大会前半が終了しました。

共通200m 中野 秀俊(中3) 23"43(+1.1) 2位 通信・総体に出場決定
共通200m 片岡 将(中3) 24"28(±0.0) 通信・総体に出場決定
共通走高跳 新川 将弘(中3) 1m82 1位 通信・総体に出場決定
共通走高跳 小河 雅広(中3) 1m65 3位 通信・総体に出場決定
共通走幅跳 塔下 剛至(中3) 5m61(±0.0) 5位 通信・総体に出場決定
共通4×100mR 新川・中野・八重樫・片岡 46"69 5位 通信・総体に出場決定

◇2010/05/08

高校・都総体初日が終了しました。

走幅跳 和泉 理久(高3) 6m75(+1.7) 第5位 南関東大会出場決定 (映像は[こちら](#))

和泉選手は高2の後半から垂直種目である走高跳から水平種目に転向しました。基本的には三段跳に専念しながらでしたが、見事南関東大会への出場権を得ることができました。

一方、残念だったのは佐伯選手が400mで7位(49秒45)、400mRが予選落ち(42秒87)です。どちらも期待されただけに残念な結果となりました。明日の試合は種目がなくなったので、残り種目は来週となります。出場選手達は全力を出し切って欲しいと思います。

◇2010/04/29

中学・はちおうじT&Fが終了しました。

午前中、思いもよらない雨が降りどうなることかと思いましたが、1時間程度で雨は止んでくれました。こんなときのためにも、しっかりと準備してこななければなりません。そもそも、一般的に雨天時には、なぜ記録が低下するのでしょうか？現在陸上競技場はほぼ全てが全天候トラックとなっています。金属のスパイクピンがトラックに食い込むので、「滑る」とは考えにくいです(走高跳のように急激なカーブを走る場合には多少は滑る感覚が生まれるかもしれませんが)。雨天時の記録低下のほとんどは、「ウォームアップの不十分さ」と、それに起因する「身体の冷え」が原因だと考えます。ならば、そのマイナス要因をできるだけ少なくする手段を考えなければなりません。天気予報で雨が降るとなればそれなりに準備できるし、事実ほとんどの選手がそうするでしょう。しかし、時として突然にわか雨が降ることもあります。陸上をやっているならば、起きうことです。ほとんどないことだけれども、もしもの時に備える気持ちを持てるかどうかは、雨天に限らず、その他諸々の状況下で必要な心構えだと考えます。イレギュラーな事態に学ぶことは多々あります。

記録的には、午前中の雨と午後からの強風で厳しい状況でした。しかし、中学2年生は一冬の成果が十分伺える試合をしてくれました。中学3年生は多くの者が不本意な結果だと受け止めていたようですが、だとすれば、今後のトレーニングと試合でその気持ちをぶつけて欲しいものです。

7月の都総体・通信大会までは2ヶ月以上あります。その時までには、ワンランク上のレベルに到達できていればいいですね。

◇2010/04/25

高校・都総体支部予選が終了しました。

入賞者＝都大会出場者

佐伯 祐樹(高3) : 200m(22"72 - 5位) 400m(49"89 - 2位)
橋爪 雄佑(高2) : 400m(50"84 - 6位)
阿津 英明(高3) : 800m(1'59"24 - 1位) 400m(51"02 - 7位)
松本 僚(高1) : 走高跳(1m83-1位)
三井 洸(高1) : 走高跳(1m71-6位)
和泉 理久(高3) : 走幅跳(6m41-1位) 三段跳(13m82-1位)
諸岡 岬(高3) : 走幅跳(6m20 - 2位)
芝山 浩平(高2) : 走幅跳(6m05 - 3位) 三段跳(12m09 - 2位)
武田 芳明(高3) : 三段跳(12m00 - 3位)
4×100mR : 和泉理久(高3)・佐伯祐樹(高3)・橋爪雄佑(高2)・唐澤航平(高1) 43"05 - 1位
4×400mR : 橋爪雄佑(高1)・佐伯祐樹(高3)・諸岡岬(高3)・阿津英明(高3) 3'27"73 - 2位

以上、延べ15種目で都総体に出場することになりました。風の状態が安定せず、コンディションとしては良い状況ではありませんでした。そんな中、800m、走高跳、走幅跳、三段跳、400mRの5種目でトップ通過(走幅跳と三段跳は1位、2位、3位を独占 — 記録的には・・・ですが)。他支部の記録もすでにHPで確認できるようです。(他県の記録会の様子もわかります。)今年も多くの選手が都総体で自己ベストを更新し、茨城で行われる南関東大会へ出場したいものです。

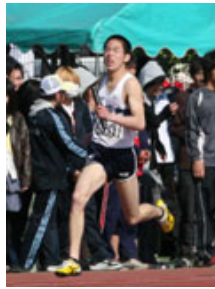


写真: 4 × 400mR

◇2010/04/14

新学期がはじまり数日しか経っていませんが、日に日に入部希望者が増えています。中学1年生はまだ入部できないので、新しく桐朋高校に入学してくれた生徒や、中学2,3年生が陸上競技を志して、連日入部届けをもってきてくれます。私も全部を把握できていない状況です。数年前の状況から一転してきました。中学生と高校生と一緒に練習すると、グラウンドが狭く感じてしまいます。

多くの生徒が陸上競技部で汗を流し、良い仲間を見つけ、同級生・上級生・下級生を問わず、周りとの切磋琢磨しながら中学・高校生活を充実させてくれると、こちらも嬉しい限りです。

◇2010/04/11

高校・都強化記録会が終了しました。開催種目は限定的で、本校からの出場者は少数でした。個人では課題の残る結果だったのかもしれませんが、400mRと1600mRでは今後に繋がる良い走りだったのではないかと思います。出場していない競合しそうなチームはありましたが、400mRは42秒73で総合3位、1600mRは3分22秒66で総合1位。2週間後には総体の支部予選が始まり、その2週間後には都総体です。連戦となりますが、コンディションを整えて、東京都を勝ち抜いていきたいものです。

中学生は、4月29日に八王子T&Fに出場します。3年生は高校生の試合に混ざり1試合出場しましたが、本格的なシーズンインは3週間後です。こちらも期待していききたいと思います。

◇2010/04/10

(不)定期連載「我が時代」を始めました。

きっかけは、本校バレーボール部のホームページにある、60周年記念のページを見てから、無性に過去の陸上部のことが知りたくなったからです。記録集を眺めていて、会ったことのない卒業生の方々の名前は、わりと頭に入っているのですが、どんなことを考えて陸上競技と向き合っていたのかが知りたくなりました。

最初にどなたに依頼しようかと悩みましたが、私と同い年で、2009年の奈良インターハイにもわざわざ駆けつけてくださった49期の菊地さんに依頼しました。初回ということで、つたない説明でも菊地さんは快く引き受けていただき、大変助かりました。本当にありがとうございました。数百人はいるであろう陸上競技部のOBの方々一人ひとりに思い出があるだろうと思います。そんなひとりひとりに昔の思い出を語っていただければ、現役部員も「桐朋陸上部の伝統」を感じてもらえることでしょう。

これからできれば定期的に「我が時代」を掲載していければと思っています。OBの方々でもし「書いても良い」という方がいましたら、是非ご一報ください。

◇2010/04/05

2010年度最初の試合である、高校・春季支部記録会が終了しました。

約5ヶ月間の冬の練習を経て、いよいよシーズンインとなりました。雨は降らなかつたものの、気温が低く、記録を出すには厳しい状況でした。自己新を更新した者はほとんどいなかったようですが、冬の間に蓄えた力が、今後徐々に

発揮されていけばと思います。今後のスケジュールは、11日に強化記録会、24,25日には支部予選が始まります。高校2年生以下にとっては長いシーズンですが、高校3年生にとっては、ひとつひとつが最後となります。目標を達成するための、最善の時間を過ごしてください。

中学生もオープン参加しました。記録は低調でしたが、中学生の場合7月、8月が本番ですから、これからどんどん試合に出場する中で、試合感を取り戻し、好記録を狙っていこう。

2010年度はどんなシーズンになるのか、今から楽しみです。